

## 第6 2回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）会議記録

日時 令和6年12月19日(木) 13時30分～14時05分

会場 新津医療センター病院 大会議室

参加者 16名 欠席7名

### 1. 連携手帳の現状と問題点

- ・前回、手帳の更なる周知をどうするかとの意見があるところだが  
→これまでに手帳普及用にポスターを作成し各事業書に配布した。  
その後、むすびあい手帳に移行した際に新潟市地域包括ケア推進課で発行したポスターと、一般掲示用のポスターが配布されたと記憶している。
- ・常に活用するページだけにして基本情報のページなどを削除されていることがしばしばある。使用方法についての注意はできないか。  
→手帳委員会の議事録を毎回出していて事業所代表から周知頂きたいところではあるが、なかなか徹底できていないのが実情である。
- ・ページの補充は誰がどのように行うのか  
→コンピュータでダウンロードして使ってもらっている。
- ・緑のコミュニケーションページを白紙でプリントアウトし、見過ごされるケースがある。  
→出来るだけ緑の用紙でお願いしているところだが。

### 問題提起 包括新津より

- ・包括センターが窓口となり事業所で手帳が不足すると区に発注しているが、ここ数ヶ月、手帳の入手が困難となっている。  
→6月くらいから本局（新潟市地域包括ケア推進課）からの補充が困難となり、地域で融通しあうように言われていたようである。  
ただ、一昨日、秋葉区の担当より1月末に入荷できるとの連絡があったと聞いている。冊数は明らかではない。

### 委員長

本局からもらえない理由については  
→正式なことは不明だが、手帳が秋葉区と近隣地域くらいしか使われていないこと。IT時代にマッチしないと思われている節がある。  
ITツールも必要だが、利用者も参加する手帳は違った意味での活用がある。  
同様に扱うべきではない、  
いずれにせよ、6月以降手帳の入手が困難になったのは利用者にも不利益となったことは否めない。  
委員会の意見として、秋葉区および本局に対して意見したい。

現在の手帳の使われ方や市への要望をアンケートし、意見を3月の手帳委員会までに取り纏め意見書として提出したい。

2. 連携手帳の発展的活用

- ・特になし。

3 その他

- ・次回 令和7年3月13日(木) 13時30分  
新津医療センター病院 大会議室

以上